

兵庫県洲本市の取組について

担当：企画情報部企画課

すもとオープンファクトリープラス事業（※）により、学生と事業所との接点を作り、若者・女性が働きたい職場づくりを推進する

取組の背景 これまで移住支援事業や奨学金返還支援事業などに取り組み、地方への移住熱の高まりもあり、社会増減は改善されつつあるが、進学等で高校卒業後に転出した若年層が就職の際に地元へ戻らないことなどにより、依然として若年層を中心に転出超過となっている



目指す姿 事業者だけではなく高校や都市部の大学等とも連携し、若者・女性に望まれる職場環境づくりに向け、男性の育児休暇取得率の向上などを目指し、若者・子育て世帯を応援する風土を形成する



取組の内容

- (1)男性の育児休暇取得率の向上を具体的な目標に掲げることで、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）を解消し、若者・女性にとって魅力的な職場づくりを推進する
- (2)産業支援団体や教育機関など多様な主体と連携しながら、市役所を含む事業所が地域ぐるみで職場・働き方の改革を推進していく

予算・スケジュール

【予算】すもとオープンファクトリープラス事業
1,500千円（令和7年度）

【スケジュール】（4月～7月）実施体制検討
（8月～11月）ワークショップ等
開催
（12月～3月）事業の評価・分析

※すもとオープンファクトリープラス事業

事業所ワークショップやまち歩きを通して、学生などが地域の未来を担う地元企業や働く大人との接点を持つことにより地域の産業（働き方）を知ってもらう体験イベント